

— 主 日 礼 拝 順 序 —

[午前10時30分 ~ 11時45分]

前	奏		小野恵子姉
讃	美 歌	24 父のかみよ, 夜は去りて	— 同
主	の 祈 り		— 同
交	読 文	39 (イザヤ書 53章)	
開	会 祈 禱		藤井堅二兄
讃	美 歌	234A 昔主イエスの 播きたまいし	— 同
聖	書	ヨハネによる福音書 18章 36節~40節	
証	し	痛いものは痛い	藤井堅二兄
讃	美 歌	499 御霊よ,降りて むかしの如く	— 同
献	金 感 謝 祈 禱		藤井千鶴子姉
頌	栄	545 父の御神に, み子に, きよき御霊に	— 同
後	奏		小野恵子姉

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

— 礼 拝 当 番 —

4月21日	講 話	司 会	奏 楽	献 金
	増田和人兄	増田和人兄	上田理恵姉	赤田欣子姉

★ 礼拝準備祈禱会は、午前10時より 1階集会室で行ないます。
当番の方は、よろしくお願ひします

4月の集会予定

- 4月21日 主日礼拝 イースター ・ 春季集会
- 4月28日 主日礼拝

[報 告]

1. 本日礼拝後、ひつじの会を行います。時間のある方はご自由にご参加ください。
2. ひつじの会に引き続き4月定例役員会を行ないます。役員の方々はよろしくお願ひします。
3. 来週礼拝後、春季集会で植物園を散策し語り合いの時を持ちます。雨天の場合は中止します。食事・飲み物は各自で準備してください。
4. 20日にイースターエッグを作ります。ご協力いただける方はよろしくお願ひします。時間は話し合いで決めたいと思います。

日本で代表的な花と言えば桜です。この時期いたるところで桜が咲き誇っています。その桜の下で人々は飲み食いし、宴会をしている風景をよく見ます。日本にはなぜ花見の風習が有るのでしょうか。そもそも、桜と言う名前の由来はどこから来たのでしょうか、「桜だから桜でしょう」と考えたこともありませんでした。

ある書物によると、サクラのサは、野の神と言われて、クラとは座の意味で、磐座(いわくら)などと呼ばれることがあるクラであるそうです。春のこの時期、野の神が山から里に下って来て木(座)に宿って花を付けます。人々は豊作を願って桜のもとに供え物を携えて祈りを奉げました。後に、供え物をつまみ食いする者が出てきて、その内、祈りを横に置いて飲めや歌えの宴会になったそうです。本来は祈りの場でした。